



真龍小便い

【学校の教育目標】
☆心と体をきたえる子
☆美しい心をもつ子
☆考えて行動する子
☆生き生きと学ぶ子

No.12 令和6年1月31日発行

「夢は叶えるもの？」

校長 斉藤 直彦

「夢を持つことは大切だよ。」という言葉は、何度か聞いたことがあるでしょう。でも、小学校の高学年ぐらいになると、「夢を持ったって、それを叶えられるのは、一部の人だけでしょう。ほとんどの人は、夢を叶えられず、妥協した人生を歩んでいるはず。」

などと考える人もいないのでしょうか。
「子どものうちから、そんなひねくれた考え方しないで・・・。」と考える、大人の都合もわかります。

では、このような考え方を「ひねくれない」考え方にする方法はないのでしょうか？

実は、最近、私はその考え方をを見つけることができました。

真龍小学校の子どもたちと関わることによって、私は、一つの夢を持つことができました。きっかけは、ある子どもから、棺桶に入れて天国に持っていきたいぐらい勇気づけられる言葉をもらえたことです。55歳から叶う夢ではないかもしれませんが、追い求めたいという願いが、どんどんと大きくなっていく昨年の年末でした。

1月5日から3日間の勉強会に参加しました。恥ずかしい思いをするかもしれないという不安もありましたが、勇気をもって参加しました。

この3日間の勉強会は、あっという間に終わりました。「自分の夢を叶えるための勉強って、こんなに夢中になれるんだな」と今になってはじめてに近いぐらい、実感しました。

「夢中」という言葉は、夢の中と書きます。

ネットで検索すると、意味は「それに心を奪われ、ほかのことを考えない状態になること」と載っていました。

まさに、私は、この3日間、自分の夢を叶える勉強に夢中になって取り組みました。

そして、これからも、もっともっと、学んでいきたいという意欲と、これから10年間の目標も持つことができました。「55歳なんていう年齢は関係ない。やりたいことがあるかどうかだ。」ということも学びました。

そしてもう一つ大切なことを学びました。それは夢を叶えるために夢中になって取り組んだ瞬間に、「夢は叶った」と言えるのではないかと、ということです。

「夢は叶えるもの」ではなく、「夢は叶え続けるもの」であり、夢を追い続けるからこそ、人は夢中になれる、楽しい人生を歩むことができる、そのような考えにたどり着きました。

例えるなら、「甲子園出場という夢」をもつ高校球児が、甲子園への切符がもらえなくても、その夢を目指して夢中になって取り組んだ瞬間、瞬間に、夢は叶っているのではないかと、ということです。

このような、夢を私に抱かせてくれた、真龍小学校の子どもたちに、いつも、とても感謝しています。（ぶっきらぼうなので、そんな感じには見えていないかもしれませんが・・・）

日本の年の初めは、つらい出来事が連続して起きていますが、私は、2024年も真龍小学校の子どもたちに支えられながら、「夢を叶え続ける毎日」にしていきたいと思っています。

日	曜	2月の主な行事
1	木	短縮日課 新1年生1日入学・保護者説明会
2	金	短縮日課 スケート学習（3・1・2・6年）
3	土	
4	日	
5	月	児童朝会⑨ 参観日（3・4年） スケート学習（6・1年）運動週間
6	火	短縮日課 参観日（1・2年） ブックトーク（3・5年）
7	水	短縮日課 スケート学習（5・4・1年）
8	木	参観日（5・6年） スケート学習 （2・3年）読み聞かせ（1年） ブックトーク（4・6年）
9	金	短縮日課 スケート学習（4・5年） 真龍中体験入学
10	土	
11	日	建国記念の日
12	月	振替休日
13	火	短縮日課
14	水	放課後学習
15	木	短縮日課 児童総会（3～6年）
16	金	短縮日課
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	短縮日課 特別支援学級第2回合同学習会
21	水	短縮日課 真中外国語乗り入れ授業（6月）
22	木	短縮日課 高齢者疑似体験学習（5年総合）
23	金	天皇誕生日 PTA 親睦ミニバレー大会
24	土	
25	日	
26	月	真小学びの約束振り返り（～3/1） 真中外国語乗り入れ授業（6雪）
27	火	短縮日課
28	水	
29	木	短縮日課

2月の帰宅時刻 16:00

この時間以降の外出は保護者同伴をお願いします。

児童の下校時刻に合わせて、また夏冬春休み中は日中家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力をお願い致します。

後期第2ステージ スタート！

1月17日(水)より、後期第2ステージが始まりました。久しぶりに友達と会えた笑顔や、元気な挨拶の声など、子ども達の活気が校舎に戻ってきました。

後期第2ステージでは、1年の締めくくりを着実にやり、進級・進学へと繋げていけるよう進めて参ります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

冬休み作品展

後期18日(木)から25日(木)まで、1階ホールにて冬休み作品展が開催されました。合わせて、クラブ活動で作成した作品も展示しました。休み時間にはお友達の力作を観て回る子ども達の姿が見られました。また、お忙しい中お立ち寄り頂いた保護者の方もいらっしゃいました。ありがとうございました。



スケート学習開始

この冬のスケート学習が始まりました。大雪の為、開催が危ぶまれた日もありましたが、役場スポーツ課の皆さんの手厚いリンク管理のおかげで無事に取り組むことができました。また、低学年の学習時には、スケート靴の紐縛り等で保護者の皆様にご協力いただいております。ありがとうございます。多くの方に支えられて、真冬日の中でも真龍小の子ども達は元気にスケート学習を楽しんでいます。



手洗いマスターになろう！

1月26日(金)、3年生が保健の授業で手洗いの仕方について学びました。手洗いをしっかりとすることで、自分の衛生状態だけでなく、社会の衛生状態を保つことに繋がることを、図や動画を交えて確認し、実際に洗ってみました。正しい手洗いをマスターして、感染症や食中毒にかからない予防習慣を身につけてほしいと思います。

※1、2年生は、昨年末に同じく手洗いの学習を行っています。

環境パネル展・ECO 発表会

冬休み期間に子ども達が作成した自由研究や工作の中から、「自然素材を使った工作」「環境について調べたこと」など環境に関わるものを、厚岸町のECO発表会に出品します。

お時間のある方は、ご覧ください。

<日時> 2月7日(水)～14日(水) 9:00～19:00

※最終日14日は14時まで

<場所> 厚岸町役場市民ホール

大谷選手のグローブが届きました

メジャーリーグで活躍中の大谷翔平選手が全国の小学校に寄贈したジュニア用野球グローブが、本校にも届きました。まずは子ども達に触って使ってもらおうと、各学級に回覧しています。大谷選手のグローブでキャッチボールをした子ども達からは、「かっこいい」「思っていたよりも軽くて柔らかい」といった感想が上がっていました。グローブに添えられていた大谷選手のメッセージにもあるように、次の世代を担う子ども達に夢を与え、勇気づけるためのシンボルになると良いかなと思います。



真龍小学校便り おすすめ本(R6.2月号)

『にげてさがして』

ヨシタケシンスケ

(赤ちゃんとママ社)

真龍おはなし隊 水島智佳

子どもにはもちろん、大人にも是非読んでほしい絵本です。

人生には多くの素敵な出会いがありますが、その一方で時に、あなたを傷つける人と出会うこともあります。そういった人がもし身近に居たとき、耐えながらも頑張り続けなければいけない。そんなことはないんだよ。と、この本は教えてくれます。

「逃げる」と聞くと悪いことのように感じますが、決してそんなことはない。心が壊れてしまう前に動いてほしい。あなたのあしは、あなたの大好きな人やもの、わかってくれる人を探しにいくためにあるんだよ。優しい絵のタッチと言葉で表現されていますが、そんな中に込められた強いメッセージが心に刺さります。

今の環境に悩んでいる人へ。そしてこれから先、まだまだたくさんの人との出会いが待っている子ども達へ贈りたい1冊です。



にげるために、さがすために、
きみのあしは、ついている。

生きづらい世の中の
すべての人へ。
ラストは、あなただけの
物語に続きます。

ヨシタケシンスケ